

新年のごあいさつ

あけまして おめでとうございます



皆さまには、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

当町の昨年の動きを振り返りますと、新型コロナウイルス感染症の拡大により栃木県からの緊急事態措置として町民の外出自粛や飲食店等の営業自粛が要請されるなど、収束が見通せない時期が続きました。この間、地域経済の基盤である観光業、商工業、農林業は大きな影響を受けました。町では、国の新型コロナウイルス臨時交付金を活用して、中小企業振興資金制度を利用する町内の中小企業者等が負担する信用保証料の補助や、新型コロナウイルス感染症収束後の集客力向上等を図るための店舗リフォーム費用を補助するなど、町内の経済対策に取り組んでまいりました。

さらに、小中学校の特別教室への空調設備設置や学校トイレの洋式化を進め、感染防止対策に努めるなど、町民の暮らしを守り、経済回復のための施策を実施しました。

こうした中、町内の全小中学校に校内LANを整備するとともに、児童生徒に1人1台タブレットを配備しICT教育を推進しております。また、県内自治体では初めてPFI手法による新婚や子育て世帯向けの賃貸住宅「黒田原地区定住促進住宅」ウイングヴィーナスの整備に取り組み、昨年12月に落成式を迎えることができました。

さて、新型コロナウイルス感染症につきましては、予断を許さない状況ではありますが、町内においては感染が拡大することなく穏やかな新年を迎えられますのも、町民や事業者の皆さまの感染拡大防止の取り組みのおかげと感謝申し上げます。

今年は、第7次那須町振興計画後期基本計画に掲げる町の将来像である「みどり輝き活気と笑顔あふれるまちふるさと那須」の実現へ向け、防

災、定住促進、福祉、ICT教育の推進、子育て支援を重点的に進めていきます。特に、地域包括支援センターの増設など福祉対策を強化します。

経済分野では、テレワークやワーケーションなど民間事業者団体との連携や、サテライトオフィス事業を推進します。また、いちご一会とちぎ国体の自転車ロードレースの開催に向け機運を高めてまいります。

新型コロナウイルス対策には引き続きスピード感を持って取り組み、子育て世帯の支援や経済再生のための施策を着実に推進し、持続可能で魅力あるまちづくりに全力で取り組んでまいりますので、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

結びに、この1年が皆さまにとりまして幸多き年となりますよう心からお祈り申し上げます。年頭のあいさつといたします。

那須町長

平山幸宏